



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 日本興業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5279 URL <http://www.nihon-kogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 多田 綾夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理部門管掌 (氏名) 山口 芳美
総務人事部長

TEL 087-894-8130

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,570	2.6	44	92.3	55	45.0	29	
2020年3月期第1四半期	2,640	21.4	23		38		41	

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 63百万円 (379.0%) 2020年3月期第1四半期 13百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	10.33	
2020年3月期第1四半期	14.49	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	12,997	6,669	51.1
2020年3月期	13,635	6,680	48.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 6,641百万円 2020年3月期 6,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		25.00	25.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想については、本日(2020年7月31日)公表の「2021年3月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	8.8	10	91.5	20	85.4	5	93.8	1.73
通期	11,500	8.7	300	43.1	320	42.3	170	37.2	58.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2020年7月31日)公表の「2021年3月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	3,064,200 株	2020年3月期	3,064,200 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	168,203 株	2020年3月期	168,183 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	2,896,012 株	2020年3月期1Q	2,896,216 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想には、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関しましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が世界的規模で拡大したことにより経済活動全般の自粛を余儀なくされ、その収束も見通せないなど、極めて厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループ（当社および子会社）は、新型コロナウイルス感染症について取引先および従業員の安全、ならびに地域の感染拡大防止を図るべく、テレワークや時差出勤の導入、出張や会合の自粛、職場における「三密」の回避などの諸対策を講じながら、これまでの事業活動を維持すべく取り組んでまいりました。販売部門においては、営業部門と各支店に配置の営業推進部が連携の上、Web会議システムなどITツールを活用しながら提案営業を鋭意推進し受注獲得に努めるとともに、採算性の向上に向けて、高付加価値製品の拡販や難易度の高い特注物件の受注に注力いたしました。一方、生産部門においては、生産子会社の東播商事株式会社を吸収合併し兵庫工場として再編し、一層効率的な生産体制の構築により生産性の向上を推進するとともに、協力会社との連携を強化しながら更なる原価の低減を推し進めるなど、グループ一丸となって収益の向上に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、主に景観資材事業が苦戦を強いられたことで25億70百万円（前年同期比2.6%減）となりました。一方、損益面では、高付加価値製品の拡販が奏功し、営業利益は44百万円（前年同期比92.3%増）、経常利益は55百万円（前年同期比45.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は29百万円（前年同四半期は41百万円の損失）となりました。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、多くの建設工事が一時中断されたことで、売上が始めとする当社業績への影響が懸念されましたが、緊急事態宣言解除後は、中断していた建設工事の多くが順次再開されたことから、現時点においてその影響は限定的であると判断しております。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

(セグメント別売上高の状況)

区分	期別	前第1四半期累計期間		当第1四半期累計期間	
		金額	構成比	金額	構成比
		百万円	%	百万円	%
土木資材事業		1,530	58.0	1,588	61.8
景観資材事業		792	30.0	677	26.4
エクステリア事業		317	12.0	304	11.8
合計		2,640	100.0	2,570	100.0

(土木資材事業)

中四国地区において遅延していた西日本豪雨災害の復旧工事が進捗したことで、ボックスカルバートや擁壁、河川製品などが売上を伸ばしたほか、関西地区における大型民間工事も売上に寄与したことにより、当セグメントの売上高は15億88百万円（前年同期比3.8%増）となりました。

(景観資材事業)

関東地区における駅前整備事業などが進捗し、主力のバリアフリータイプを始め、車道用舗装材や遮熱性に優れた舗装材などが堅調に推移したものの、前年度の売上伸長をけん引した東京オリンピック・パラリンピック関連物件工事が終了したことで、当セグメントの売上高は6億77百万円（前年同期比14.5%減）となりました。

（エクステリア事業）

品揃えを図りハウスメーカーへの拡販を推進した結果、主力製品の立水栓を始めとするガーデン関連製品は堅調に推移したものの、その他の製品が苦戦したことにより、当セグメントの売上高は3億4百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて6億37百万円減少し、129億97百万円となりました。これは主に、売上高に季節的変動があることで売上債権の受取手形及び売掛金が8億47百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて6億26百万円減少し、63億28百万円となりました。これは主に、売上高の季節的変動に伴い仕入債務の支払手形及び買掛金が1億68百万円減少、ならびに電子記録債務が2億36百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて10百万円減少し、66億69百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上はあったものの配当金の支払いにより利益剰余金が減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は51.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想および配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社グループに与える影響について合理的に見積ることが困難なことから未定としておりましたが、今般、緊急事態宣言の解除に伴い、中断していた建設工事も再開されつつあることから、当社グループの事業活動における新型コロナウイルスの影響は限定的であると判断し、現時点で入手可能な情報に基づき算定を行いました。詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,220,366	1,417,272
受取手形及び売掛金	3,703,757	2,855,865
電子記録債権	986,723	899,091
商品及び製品	1,090,311	1,166,062
仕掛品	97,423	108,938
未成工事支出金	6,041	7,343
原材料及び貯蔵品	286,755	264,490
その他	30,888	40,210
貸倒引当金	△2,820	△2,410
流動資産合計	7,419,447	6,756,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	956,044	947,886
土地	3,594,791	3,594,791
その他(純額)	823,092	825,891
有形固定資産合計	5,373,929	5,368,569
無形固定資産	172,992	171,694
投資その他の資産		
投資有価証券	500,962	541,889
退職給付に係る資産	54,711	66,043
繰延税金資産	34,027	13,650
その他	89,226	89,104
貸倒引当金	△10,116	△10,116
投資その他の資産合計	668,811	700,571
固定資産合計	6,215,732	6,240,835
資産合計	13,635,179	12,997,699
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,673,694	1,505,490
電子記録債務	946,905	710,219
短期借入金	2,590,602	2,574,972
未払法人税等	58,438	22,878
未払消費税等	132,767	61,327
未払費用	163,476	297,668
賞与引当金	193,094	104,401
役員賞与引当金	12,435	—
その他	363,660	319,055
流動負債合計	6,135,074	5,596,014
固定負債		
長期借入金	599,121	499,218
繰延税金負債	—	7,821
その他	220,948	225,344
固定負債合計	820,069	732,384
負債合計	6,955,143	6,328,398

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,019,800	2,019,800
資本剰余金	2,016,611	2,016,611
利益剰余金	2,512,111	2,469,639
自己株式	△91,132	△91,147
株主資本合計	6,457,390	6,414,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	202,579	234,651
退職給付に係る調整累計額	△7,970	△7,560
その他の包括利益累計額合計	194,609	227,091
非支配株主持分	28,037	27,307
純資産合計	6,680,036	6,669,301
負債純資産合計	13,635,179	12,997,699

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,640,134	2,570,790
売上原価	2,131,711	2,050,182
売上総利益	508,422	520,608
販売費及び一般管理費	485,238	476,030
営業利益	23,183	44,577
営業外収益		
受取配当金	7,665	7,671
受取賃貸料	5,548	3,521
工業所有権実施許諾料	1,725	1,669
雑収入	7,245	4,238
営業外収益合計	22,184	17,100
営業外費用		
支払利息	4,462	3,245
賃貸費用	1,456	1,275
売上割引	864	1,220
雑損失	2	0
営業外費用合計	6,786	5,741
経常利益	38,582	55,937
特別損失		
固定資産売却損	1,395	—
投資有価証券評価損	59,565	—
特別損失合計	60,961	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22,378	55,937
法人税、住民税及び事業税	6,361	6,140
法人税等調整額	11,658	19,162
法人税等合計	18,019	25,303
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,398	30,633
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,581	709
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△41,979	29,924

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40,398	30,633
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	55,277	32,071
退職給付に係る調整額	△1,702	410
その他の包括利益合計	53,574	32,482
四半期包括利益	13,176	63,115
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,594	62,406
非支配株主に係る四半期包括利益	1,581	709

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。